

# 令和7年度 学校評価結果について

高岡市立南星中学校

学校教育活動の状況や成果を検証し、改善を行うため、保護者の方と生徒の皆さんに、アンケート調査を行いました。調査結果等から、主に以下のことについて振り返り、次年度の学校運営に生かしていきたいと考えています。

## 達成目標（重点）としていた項目

	項目	目標値	自己評価結果（※）	
			よくあてはまる	ややあてはまる
①	相手の気持ちや立場を考えて発言している生徒	80%以上	56%	40%
②	友達に感謝、ねぎらい、励ましの声などをかけている生徒	80%以上	64%	33%

（※「よくあてはまる」と答えた生徒の割合）

2項目とも、「よくあてはまる」と答えた生徒は、目標値（80%）には届きませんでしたが、「ややあてはまる」と答えた生徒と合わせると、大半の生徒が肯定的な回答をしています。

## その他の項目

### ■改善が必要と思われる事項

「進んで家庭学習に取り組んでいる」と答えた生徒が77%でした。

〔 ・よくあてはまる 37%  
・ややあてはまる 40% 〕 計77%

昨年度の結果と同様に、家庭学習の充実が課題として考えられます。  
学力の向上を図るためには、学校で学んだ内容を定着させたり、深めたりするための家庭学習の充実が大切です。また、家庭学習を充実させることは、生涯にわたって学び続ける態度の育成や基本的な生活習慣の確立、自己決定できる子供の育成にも結び付くと思います。

### ■保護者アンケートより

子供に身に付けさせたいことで、家庭で特に力を入れて指導していることや願いとしている保護者が多い反面、学校でよく指導できていると答えた保護者が少ない項目は、昨年度の結果と同様に、主に以下の2点でした。

・人に迷惑をかけない  
・思いやり

いずれも他者とのかかわりに関する事柄です。

他人との好ましい人間関係づくりや思いやりの心、協力、協調性等について、引き続き、本校の校訓である「自重互敬」の精神と関連付けながら、様々な教育活動にて重きを置き、取り組んでいきたいと思っています。